

公益社団法人熊本法人会会長賞

消費税率の引き上げについて

熊本市立桜木中学校 二年 浦田 実侑

最近あった参議院選挙やテレビのコマーシャルなどで消費税のことが取り上げられることが多くなりました。今年の十月一日から消費税が八パーセントから十パーセントに増税されるからです。私が普段買物をするとき支払っている税金なので、二パーセントも高くなるということを最初に聞いたときは、少し嫌な気分になりました。そこで、なぜ消費税を二パーセント引き上げる必要があるのか調べようと思いました。

消費税とは、商品の販売やサービスの提供に対してかかる税金であり、消費全体に広く公平に負担を求める間接税で、最終的には商品を消費したり、サービスの提供を受けたりする消費者が負担し、事業者が納税するものです。現在は、消費税の税率は、六・四パーセント、地方消費税の税率は、一・六パーセント、これを合わせて八パーセントの税率になっています。

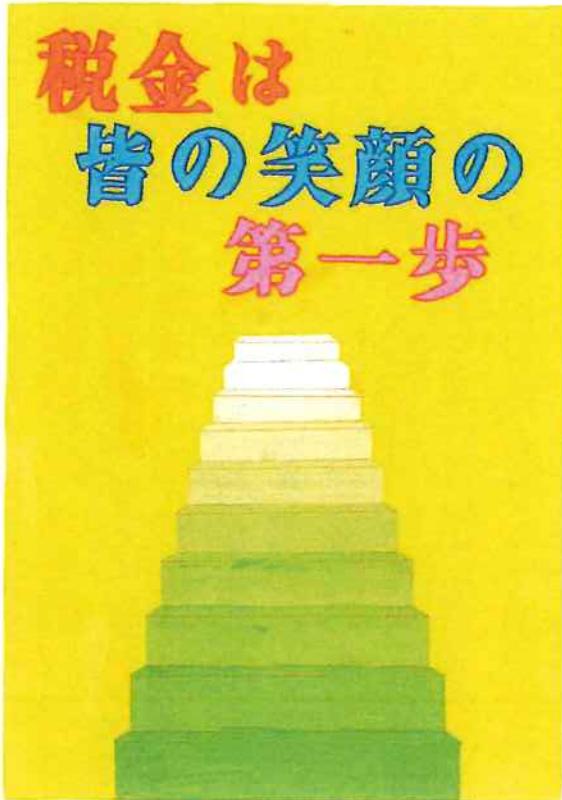
消費税は、私たち中学生でも支払っている税金ですが、私たちが生活するうえでどのようなサービスに活かされているのか実感がありません。なぜ、また消費税を増税する必要があるのかわかりません。そこで、父にその理由を聞いてみたところ、次のように教えてくれました。現在の日本は、少子高齢化による働く現役世代の減少と高齢者の増加という大きな問題を抱えていて、働く現役世代の減少は税金や社会保険料などの国の収入を減らし、高齢者の増加は医療費をはじめとする社会保障費を増大させているということ。この増え続ける社会保障費の財源を確保するため消費税増税が行われる目的の一つだということでした。その他、借金（国債）の返済や教育・子育ての充実のために使われる予定ということでした。また、国税庁のパンフレットをみたところ、令和元年十月一日から消費税及び地方消費税の税率が八パーセントから十パーセントに引き上げられると同時に、すべて十パーセントではなく、消費税の軽減税率制度が実施され、飲食料品や新聞は八パーセントということもわかりました。そして、日本の消費税率は、世界と比較してみると低いほうでヨーロッパの国々では消費税率二十パーセントを超える国が多く、また、幅広く軽減税率が適用されていることがわかりました。いろいろ消費税について調べてみると、今まで消費税率が二パーセントも引き上げられるということばかり考えていた自分がはずかしい気持ちになりました。

日本国憲法第三十条では、納税の義務が定められています。納税することは、自分の家族や周りの人たちを豊かにし、日本全体が安心して暮らしやすくなるためにも大切なことです。将来の国民の負担を減らすためにも、これから政治や経済に关心を持ち、税金について考えていきたいと思います。

公益社団法人熊本法人会会长賞

つくりたい 豊かな未来 税金で

公益社団法人熊本法人会会长賞



熊本マリスト学園中学校3年

泉野 魁心

嘉島町立嘉島中学校2年
松川 令奈

公益社団法人熊本法人会会长賞



甲佐町立甲佐中学校3年
大塚 一姫